取扱説明書

サイネージコントローラー

形名

PN-ZP02

インフォメーションディスプレイ
マネージメントソフト
e-Signage（イーサイネージ）
ビューア版プリインストール済

HDMI

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保管してください。

もくじ

付属の AC アダプターおよび電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

電波障害に関するご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
※ クラス B 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。
　HDMI 端子

お願い

※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ お客様または第三者が、この製品の使い方を誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
※ 重要な内容は、必ず USB メモリーや外付けハードディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
※ 当社では、ハードディスクの記録内容の保護および損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。
その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号の意味（図記号の一例です。）

 記号は、**気をつける**必要があることを表しています。

 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。
電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。
火災や感電の原因となります。

改造や分解をしない。お客様による修理はしない。
火災や感電、けがの原因となります。

電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。
付属の電源コードは AC100V 専用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。

ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。
腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境で使用しない。
火災の原因となります。

本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。
火災や感電の原因となります。
本機の近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。
風呂やシャワー室では使用しないでください。
エアコン等水を排出する機器にも注意してください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。

本機の取り付け・取り外しは、お買いあげの販売店か設置業者が行う。
作業に不備があると、感電や落下などによりけがの原因となります。

対応機種以外には使用しない。
火災や落下の原因となります。

取り付け･取り外しのときは、必ずインフォメーションディスプレイ本体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因となります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

電源コードは、必ず付属のものを使用する。
付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

強い衝撃や振動を与えない。
落ちたりしてけがの原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。

通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。
内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。
(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。)

本機や AC アダプターの温度が高くなる部分に長時間触れない。
低温やけどの原因となることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことを守る。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

AC アダプターの取り扱いにあたっては、次のことを守る。
取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 絶対に分解しないでください。内部には高圧部分があり、触ると危険です。
- AC アダプターは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 付属の AC アダプターは他の機器に使用しないでください。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用する。

電源コードは、タコ足配線しない。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

本機を逆さまにしない。
本機の上にものを置かない。
熱がこもり、発熱や火災、故障の原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。

使用上のご注意

お手入れのしかた

必ず電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

- 汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、
ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

本機は周囲温度 5℃～ 35℃の範囲内でご使用ください

（接続する機器の条件を確認し、それらをすべて満たす条件内でご使用ください。）

- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

直射日光・熱気は避けてください

- 異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- キャビネットや部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

動作中に振動を与えないでください

- 故障の原因となることがあります。

動作中に不意な電源の切り方をしないでください

- 本機は精密機器です。必ず 12 ページの手順に従って電源を切ってください。動作中にコンセントから電源プラグを抜いたり、AC アダプターを抜くと、故障の原因となることがあります。

本機の通風孔をふさがないでください

- 内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

海外では使用できません

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

■ 取扱説明書の表記について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。

■ 商標について

- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
- インテル、インテル Atom は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- QuickTime は米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Adobe Flash、Reader はアドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

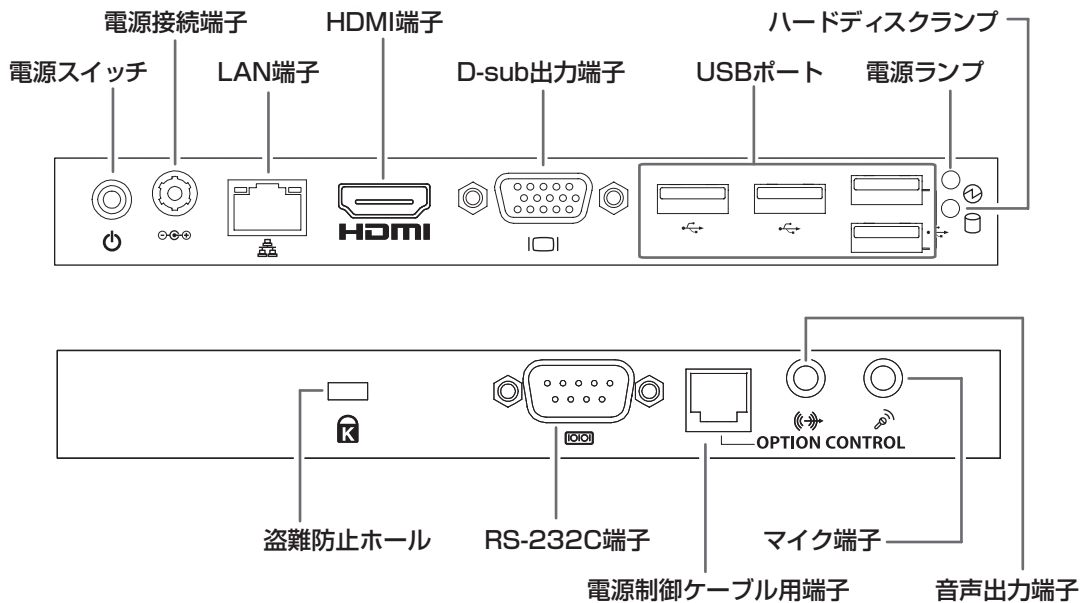
付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

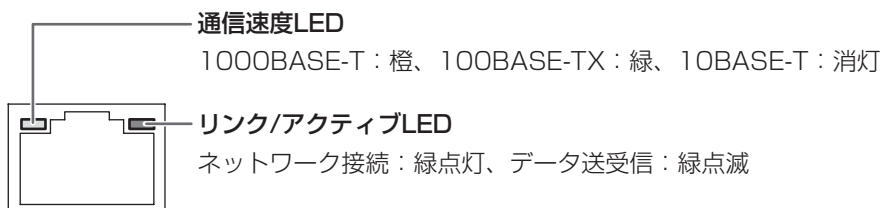
- □ コントローラー（1 台） □ 取扱説明書（本書） □ 保証書（1 部）
- □ M3 ネジ（9 個） □ M4 ネジ（4 個） □ 蝶ネジ（2 個） □ 取付金具（3 個） □ クッション材
- □ AC アダプタートレイ（1 個） □ ケーブルクランプ（5 個） □ RS-232C ケーブル [約 135 cm]（1 本）
- □ オーディオケーブル [約 140 cm]（1 本） □ アナログ RGB ケーブル [約 135 cm]（1 本）
- □ 電源制御ケーブル [約 140 cm]（1 本） □ 電源ケーブル [約 140 cm]（1 本） □ ケーブルホルダー（1 個）
- □ 電源ケーブルプロテクター（1 個） □ AC アダプター [ケーブル長 約 180 cm]（1 個）
- □ 電源コード [AC100V 用・約 300 cm]（1 本）

※ AC200V（50/60Hz）のコンセントを使用するときは、別売の電源コード（QACCJ1074MPPZ）を使用してください。

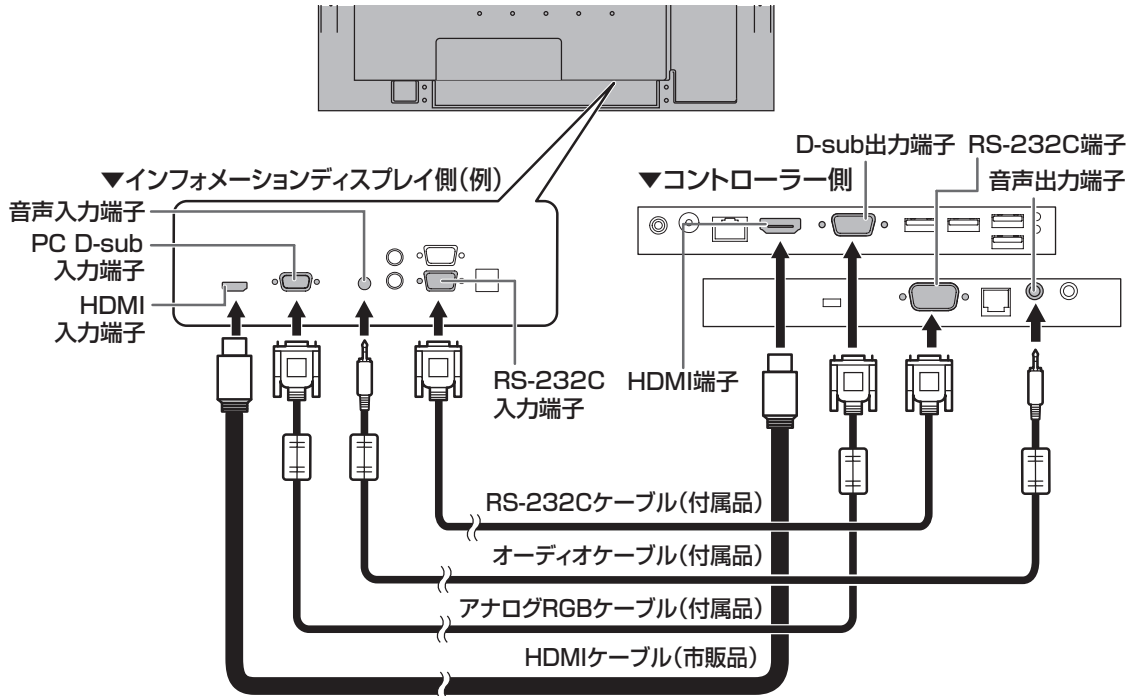
※ この製品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

各部の名前

ご参考

- USB ポートに接続する機器は、消費電流が 4 ポート合計で 1A 以下にしてください。
- 盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

■ LAN リンクランプ

接続のしかた

■ ディスプレイの接続

ケーブルの取り付け／取り外しは、インフォメーションディスプレイとコントローラーの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

!ご注意

- 端子が破損・変形したケーブルを使わないでください。無理に接続すると故障の原因となる場合があります。

HDMI 端子接続について

- 市販の HDMI ケーブル (HDMI 規格認証品) を使用してください。
- HDMI 端子の設定が可能なディスプレイは、設定を PC にしてください。詳細はディスプレイの説明書を参照してください。

画面解像度の変更について

- Windows の「画面の解像度」の変更では、正しく表示できないことがあります。画面解像度は、「インテルグラフィック / メディアコントロール・パネル」で変更してください。「インテルグラフィック / メディアコントロール・パネル」は、デスクトップを右クリックし、「グラフィック プロパティ」をクリックして表示します。

■ 電源の接続

電源の接続には以下の 2 種類の方法があります。

① AC アダプターを使用。

② 電源ケーブルを使用し、インフォメーションディスプレイから電源を供給する。
「付録 4：電源ケーブルの接続」（26 ページ）を参照してください。

ご注意

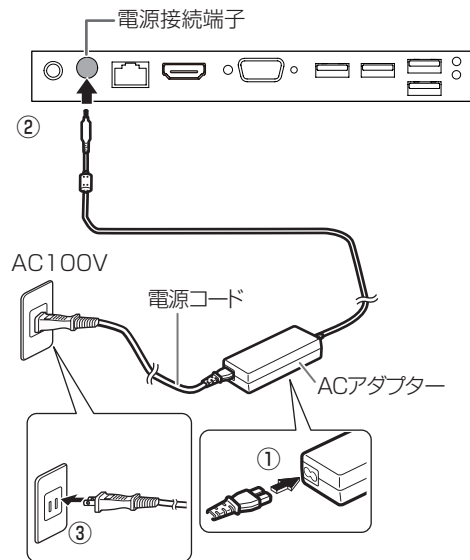
・ 電源コードは必ず付属または指定のものを使用してください。

警告

電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。
付属の電源コードはAC100V用です。指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

1. AC アダプターと電源コードを接続する。

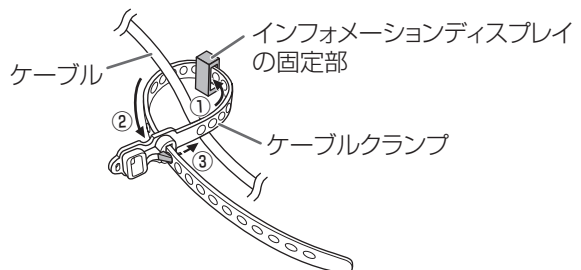
2. AC アダプターを電源接続端子に接続する。

3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込む。

ご参考

・ AC200V（50/60Hz）のコンセントを使用するときは、別売の電源コード（QACCJ1074MPPZ）を使用してください。

■ ケーブル処理

ご参考

・ 背面に固定部のあるインフォメーションディスプレイでは、付属のケーブルクランプで、ケーブルを固定することができます。

コントローラーについて

- OS には、本機用に機能が限定された Windows Embedded Standard 7 を採用しています。
- 初めて使用するときは、Windows の起動に時間がかかります。
- 初めて使用するときは、USB メモリーや USB ハードディスクなどのストレージ機器を取り付けた状態で起動しないください。
- 本機は、e-Signage と組み合わせて利用することが前提となっています。
- お客様がインストールしたアプリケーションソフトやデバイスドライバーの動作については保証の対象になりません。
- 本機で、タッチディスプレイのデュアルタッチ操作を行うことはできません。タッチパネルのタッチモード設定が「デュアル」になっているとタッチパネルを利用することができません。タッチパネルドライバーの説明書に従って、タッチモード設定を「シングル」に設定してください。タッチパネルドライバーの電子マニュアルを、C: ¥SHARP ¥Driver ¥TouchPanel に収録しています。ご覧いただくためには、Adobe Reader が必要です。
- SHARP ペンソフトをインストールして使用することはできません。
- Microsoft Office をインストールして使用することはできません。
- Windows Embedded Standard 7 の使用条件については、デスクトップ画面の「マイクロソフトソフトウェア条項」を確認してください。

■ インフォメーションディスプレイマネージメントソフト『e-Signage』(イーサイネージ)

- 本機には、e-Signage(ビューア版)がインストールされています。電源を入れると e-Signage(ビューア版)が自動的に実行されます。
- e-Signage(ビューア版)は、e-Signage(ライト版/スタンドアロン版/ネットワーク版)や e-Signage Pro(EX / WEB サーバー版)で作成したコンテンツを表示するためのソフトウェアです。ビューア版単独では使用できません。
- e-Signage(ビューア版)の使いかたについては、e-Signage(スタンドアロン版/ネットワーク版)の説明書をご覧ください。電子マニュアルを C: ¥SHARP ¥Utility ¥e-Signage に収録しています。ご覧いただくためには、Adobe Reader が必要です。
- e-Signage ライト版は、インフォメーションディスプレイのホームページよりダウンロードすることができます。(無償)
  http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/lineup/e-signagelite/

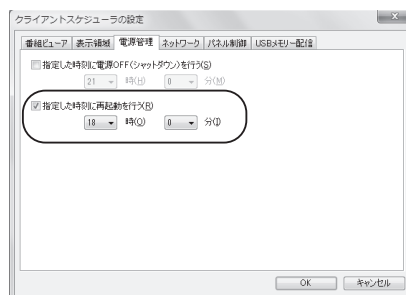
■ コンテンツの作成・再生について

- 本機には PowerPoint Viewer 2010 および Adobe Flash Player バージョン 11 がインストールされています。Flash コンテンツの再生で互換性に問題がある場合は、旧バージョンの Flash Player をお試しください。C: ¥SHARP ¥Utility の¥Adobe_09、¥Adobe_10、¥Adobe_11 にそれぞれバージョン 9、10、11 のインストーラーを収録しています。
- QuickTime コンテンツの再生には QuickTime Player が別途必要です。詳細はお買いあげの販売店にお問い合わせください。
- 動画の再生に有償のコーデックが別途必要になる場合があります。詳細はお買いあげの販売店にお問い合わせください。
- 縦長設置のディスプレイに、縦長コンテンツを表示する場合は、回転表示する必要があります。デスクトップ画面を右クリックし、「画面の解像度」をクリック、「向き」コンボボックスを「縦」または「縦(回転)」に変えてください。
- 事前に試し再生を行うことをお勧めします。コンテンツによっては、正しく再生できない場合があります。

■ 24 時間以上連続で使用する場合

本機を 24 時間以上連続して使用する場合は、1 日に 1 度、本機を再起動する必要があります。

1. コントローラーを起動し、タスクトレイにある e-Signage クライアントスケジューラーのアイコン(　)を右クリックし、「設定」をクリックする。

2.「電源管理」タブをクリックし、「指定した時刻に再起動を行う」にチェックを入れ、再起動したい時刻を設定する。

ご参考

- 再起動する時刻は、お客様等の目に触れる可能性の低い時間帯を選ぶことをお勧めします。

■ Windows Update について

・本機は、安定したコンテンツ再生のため、Windows の自動更新を無効にしています。
・Windows の重要な更新プログラムは下記の手順でインストールしてください。

1. C ドライブを保護した状態にしている場合は C ドライブの保護を解除する。

C ドライブの保護については、「電源の入／切」(12 ページ) をご覧ください。

2. コントローラーをインターネットに接続する。

3.「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」-「Windows Update」をクリックする。

4.「更新プログラムの確認」をクリックする。

5. 以降は、画面の指示に従って操作する。

「x 個の重要な更新プログラムが利用可能です」と表示された場合は、「更新プログラムのインストール」をクリックしてインストールします。
「Windows は最新の状態です。」と表示された場合は、更新可能なプログラムがありません。

6. Windows Update が完了したら、C ドライブの保護を元の状態に戻す。

■ USB 機器の取り外しかた

USB 機器を取り外すときは、以下の手順に従ってください。

1. 取り外す USB 機器にデータの読み書きをしていないことを確認する。

2. タスクバーの通知領域に表示されている を右クリックする。

3. 表示されるメニューから、取り外したい USB 機器をクリックする。

4. USB 機器を取り外す。

「このデバイスは現在使用中です ...」というメッセージが表示されたときは、[OK] をクリックし、手順 1 からやり直してください。

!ご注意

・データの読み書き中に USB 機器を取り外すと、コントローラーが正常に動作しなくなったり、USB 機器やデータが破損することがあります。

ご参考

・USB 機器の取り外し手順は、機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書も併せてご参照ください。

■ ハードディスクの書き込み保護機能について

・本機の Windows には、ハードディスクの書き込みを制限する FBWF (File-Based Write Filter) 機能が搭載されています。
・コントローラー運用時は、C ドライブ (システムドライブ) が保護された状態にしてください。C ドライブを保護する設定については、「電源の入／切」(12 ページ) をご覧ください。
・C ドライブを保護すると、C ドライブに対する変更内容がメモリー上に仮想的に行われ、ハードディスクに記録されません。
コントローラーを再起動することで、C ドライブの保護を開始したときの状態に戻せるため、システム設定の変更やソフトウェアのインストールが原因で発生するトラブルを避けたり、ウイルスや悪意のあるプログラムからコントローラーを守ることができます。
・C ドライブに対する変更を確定した状態にしたい場合は、変更を行う前に C ドライブの保護を解除してください。

■ 内蔵電池

・本機の時計は内蔵電池により保持されます。
内蔵電池の交換は、お買いあげの販売店または修理相談窓口にご相談ください。
・内蔵電池の寿命の目安：約 5 年（本機の状態により異なります。）
・最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

電源の入／切

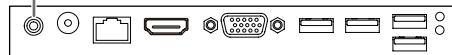
コントローラーの電源スイッチを押すたびに、コントローラーの電源が入／切します。

電源の入れ方

電源スイッチ

1. ディスプレイの電源を入れる。

2. コントローラーの電源スイッチを押す。

コントローラーが起動し、Windows が起動します。
コントローラーの起動は、ビープ音で確認することができます。

電源の切り方

1. データの読み書き／印刷／通信等の作業をすべて終了する。

2. コントローラーの電源スイッチを押す。

Windows のシャットダウン処理が始まります。

3. シャットダウン終了後、ディスプレイの電源を切る。

!ご注意

- コントローラーの起動と終了には時間がかかります。
  - コントローラー起動中は、電源を切らないでください。
  - コントローラーの電源を再度入れるときは、シャットダウン完了後、5 秒以上の間隔をあけてください。
- 電源を切るときは、必ず Windows のシャットダウン処理を行ってください。
- Windows のシャットダウン処理が終わるまでは、電源コードを抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイからコントローラーの電源を制御する設定になっている場合は、操作が上記と異なります。操作内容については 16 ページをご覧ください。

ご参考

- ディスプレイより先にコントローラーの電源を入れると、解像度が正しく表示されない場合があります。
- コントローラーの電源は、Windows のシャットダウン操作でも切ることができます。

書き込み保護機能の利用

本機の Windows には、ハードディスクの書き込みを制限する FBWF（File-Based Write Filter）機能が搭載されています。コントローラー運用時は、以下の操作により、C ドライブ（システムドライブ）が保護された状態にしてください。

1. デスクトップの「FBWF 設定ツール」をダブルクリックする。

2.「次回起動時の設定」の「FBWF を有効にする」をチェックする。

3.「次回起動時の設定」の「C ドライブ」をクリックして選択し、「保護する」をクリックする。

4.「OK」をクリックする。

5. 再起動を確認する画面で、「はい」クリックする。

コントローラーが再起動し、C ドライブが保護された状態になります。

ご参考

- C ドライブが保護された状態になっていると、以下のような操作を行っても、コントローラーの電源を切ったり再起動することで、操作前の状態に復元することができます。
  - コントローラーの設定変更
  - C ドライブ上のファイル変更
  - C ドライブへのソフトウェアのインストール／アンインストール
- FBWF 機能によりハードディスクが保護された状態になっていると、コントローラーの起動に時間がかかる場合があります。
- 保護を解除したい場合は、デスクトップの FBWF 設定ツールを再度実行し、「次回起動時の設定」の「FBWF を有効にする」のチェックを外して「OK」をクリックします。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。
修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。
製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 有寿命部品について

本製品の通常の使用において、製品の使用環境（温湿度など）や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。
本製品には、下記の有寿命部品が含まれています。
ご使用状態によっては早期に部品交換（有料）が必要となる場合があります。

有寿命部品

ハードディスク・ファン・AC アダプター・内蔵電池
※ ユニット単位の交換になります。

■ 修理を依頼されるときは（出張修理）

本書をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- 品名：サイネージコントローラー
- 形名：PN-ZP02
- 取り付けているインフォメーションディスプレイの形名
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（14 ページ）にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れなどのご相談・ご依頼、 および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

<シャープサポートページ>
http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/

使いかたのご相談など

使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社

部署	電話	所在地
ビジネスソリューション事業推進本部 ビジネスソリューション営業部	0120-571002 フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は、 電話: 03-5446-8153	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館
ビジネスソリューション事業推進本部 ディスプレイ事業部	0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

受付時間
月曜～金曜
9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

修理のご相談など

【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープビジネスソリューション株式会社

0570-00-5008
（●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。●携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS･IP電話をご利用の方は…
06-6794-9676

■沖縄地区の方は…
沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866
（月曜～金曜： 9:00～17:30）
（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道	札幌技術センター	(011)641-0751	063-0801	札幌市西区二十四軒 1 条 7-3-17
東北	仙台技術センター	(022)288-9161	984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
	福島技術センター	(024)959-1421	963-0547	郡山市喜久田町卸 3-27-2
	岩手技術センター	(019)638-6085	020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南 3-1-1
関越	新潟技術センター	(025)284-6023	950-0965	新潟市中央区新光町 9 番 2
	宇都宮技術センター	(028)634-0256	320-0833	宇都宮市不動前 4-2-41
	前橋技術センター	(027)252-7311	371-0855	前橋市問屋町 1-3-7
	水戸技術センター	(029)243-0909	310-0851	水戸市千波町 1963
首都圏	東京フィールドサポートセンター ビジネスシステム技術部	(03)6404-4123	143-0006	東京都大田区平和島 4-1-23
中部	名古屋第1技術センター	(052)332-2758	454-0011	名古屋市中川区山王 3-5-5
	三重技術センター	(059)231-1573	514-0131	津市あのつ台 4-6-4
	静岡技術センター	(054)344-5621	424-0067	静岡市清水区鳥坂 1170-1
	長野技術センター	(026)293-6360	388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢 6877-1
	金沢技術センター	(076)249-9033	921-8801	石川郡野々市町御経塚 4-103
近畿	大阪フィールドサポートセンター	(06)6794-9671	547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
	東大阪技術センター	(06)6794-6882	547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
	京都技術センター	(075)681-9551	601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町 48
	神戸技術センター	(078)795-6336	654-0161	神戸市須磨区弥栄台 3-15-2
中四国	広島技術センター	(082)874-6100	731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
	岡山技術センター	(086)292-5830	701-0301	都窪郡早島町大字矢尾 828
	松江技術センター	(0852)21-6110	690-0017	松江市西津田 3-1-10
	高松技術センター	(087)823-4980	760-0065	高松市朝日町 6-2-8
	高知技術センター	(088)883-7039	781-8104	高知市高須 1-14-43
	松山技術センター	(089)973-0121	791-8036	松山市高岡町 178-1
九州	福岡技術センター	(092)572-2617	812-0881	福岡市博多区井相田 2-12-1
	北九州技術センター	(093)592-6510	803-0814	北九州市小倉北区大手町 6-12
	熊本技術センター	(096)237-5353	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 227-78
	鹿児島技術センター	(099)259-0628	890-0064	鹿児島市鴨池新町 12-1

●沖縄地区については、沖縄シャープ電機株式会社にお問い合わせください。

沖縄シャープ電機株式会社　<受付時間>月曜～金曜：9:00 ～ 17:30（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
沖縄	沖縄シャープ電機（株）	(098)861-0866	900-0002	那覇市曙 2-10-1

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2013.5)

主な仕様

■ 製品仕様

形名	PN-ZP02
OS	Windows Embedded Standard 7
CPU	インテル Atom プロセッサー N2600 (Embedded) 1.6GHz
メインメモリー	2GB
ハードディスクドライブ	約250GB
最大解像度	1920×1080（縦回転可能）
映像出力	ミニD-sub15ピン（3列） 1ポート、HDMI 1ポート
音声出力	φ3.5mm ミニステレオジャック 1ポート
音声入力	φ3.5mm ミニステレオジャック 1ポート (マイク端子)
USBポート	4ポート (USB2.0準拠)
シリアルポート	RS-232C 1ポート
LANポート	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
電源制御	モジュラージャック 1ポート
電源	AC100-240V、50/60Hz（専用ACアダプター使用時）、DC 19V※1
使用温度条件	5～35℃※2
使用湿度条件	20～80%（結露なきこと）※2
消費電力	23W
外形寸法（突起部を除く）	幅 約166mm×奥行 約177mm×高さ 約19mm
質量	約 0.9kg（取付金具・ケーブル類含まず）

※ 1 AC200V（50/60Hz）のコンセントを使用するときは、別売の電源コード（QACCJ1074MPPZ）を使用してください。
※ 2 接続する機器の条件も確認し、それらすべてを満たす条件内でご使用ください。

付録 1：コントローラーの電源を制御する

本機は、インフォメーションディスプレイ、コントローラー自身、または管理用パソコンから電源を制御することができます。
電源制御には、以下の方法があります。

A：インフォメーションディスプレイのリモコンで電源を制御する（下記）
B：インフォメーションディスプレイのスケジュール機能で電源を制御する（17 ページ）
C:コントローラー自身で電源を制御する(17ページ)
D：管理用パソコンから電源を制御する（18 ページ）
E：ディスプレイの電源を制御し、Windows の起動／終了画面を見せないようにする（19 ページ）

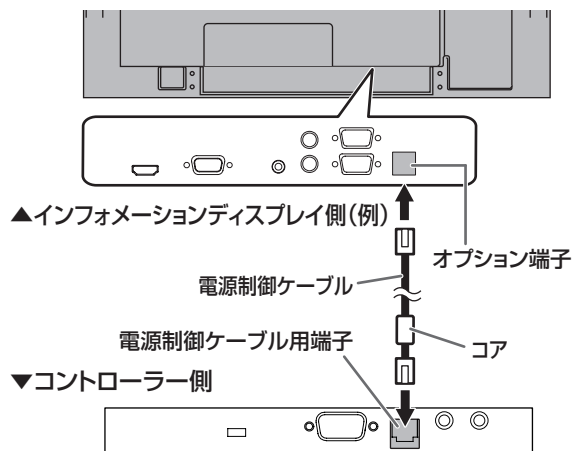
ご注意

・B、C、D の方法は、いずれか 1 つの方法で電源を制御してください。

■ A：インフォメーションディスプレイのリモコンで電源を制御する

インフォメーションディスプレイ付属のリモコンやインフォメーションディスプレイ本体の POWER（電源）ボタンを押すたびに、コントローラーの電源を入／切します。
インフォメーションディスプレイは、コントローラーの電源入／切に合わせ、電源入（画面表示）／入力信号待機状態に変わります。

対応機種（2013 年 4 月現在）
PN-V602/PN-R903/PN-R703/PN-R603/PN-E802/PN-E702/PN-E602/PN-E601/PN-E521/PN-E471R/PN-E421/PN-A601/PN-L802B/PN-L702B/PN-L602B/PN-L601B/PN-L600B

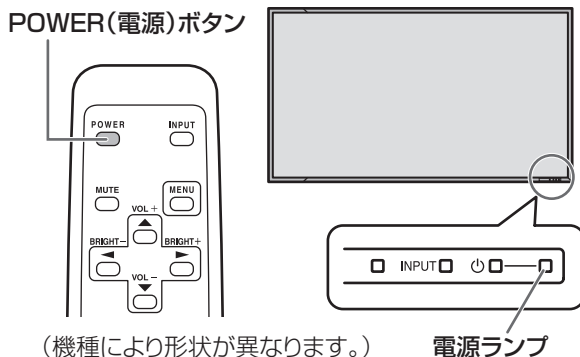
1. 電源制御ケーブルを接続する。
コアのある方をコントローラー側に接続します。

2. インフォメーションディスプレイのメニューの設定を変更する。
(1) 本体設定またはモニターメニューの「スタンバイモード」を「スタンダード」に設定する。
(2) 機能切換またはその他メニューの「パワーマネジメント」を「する」に設定する。
(3) 機能切換またはその他メニューの「自動入力切換」を「しない」に設定する。
メニューの設定方法については、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

3. インフォメーションディスプレイの特別機能の設定を変更する。
特別機能を設定するときは、SIZE ボタンを約 5 秒押した後、▲ ► ▼ ◄ ボタンを順に押してください。
(1)「POWER ボタン」を「コントローラー」に設定する。
(2)「コントローラー入力端子」を、コントローラーを接続した端子に設定する。
特別機能の設定方法については、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

4. インフォメーションディスプレイの主電源を入れ直す。

電源ランプについて

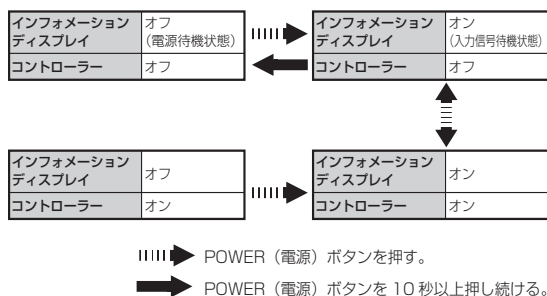
インフォメーションディスプレイの電源ランプでコントローラーの状態がわかります。
コントローラーの電源「入」… 電源ランプ緑色点灯
コントローラーの電源「切」… 電源ランプ緑色点滅（ディスプレイ入力信号待機状態）

（機種により形状が異なります。）

ご参考

・リモコンが使えない場合は、インフォメーションディスプレイ本体の前面にある POWER（電源）スイッチをペン先などの先の細いもので押すことにより、リモコンの POWER（電源）ボタンと同じ操作を行うことができます。

・ コントローラーが反応しなくなったときなど、コントローラーの電源を強制的に切りたいときは、入力モードをコントローラーの入力端子に切り換え、リモコンのPOWER（電源）ボタンを１０秒以上押し続けてください。このとき、ディスプレイは電源待機状態になります。

16ページの手順3でインフォメーションディスプレイの特別機能の設定を変更した場合、以下の動きをします。

・ インフォメーションディスプレイとコントローラーの電源は、次のような遷移をします。

・ リモコンのPOWER（電源）ボタンを押してコントローラーの電源を入／切する場合。インフォメーションディスプレイがコントローラー以外からの入力信号を表示している場合でも、コントローラーからの入力信号の表示に切り換えた後に、コントローラーの電源を入／切します。

■ B：インフォメーションディスプレイのスケジュール機能で電源を制御する

インフォメーションディスプレイのスケジュール機能で電源入／切することができます。
スケジュール機能で指定した曜日・時刻になると、ディスプレイ・コントローラーの電源が入／切します。

対応機種（2013年4月現在）

機種名
PN-V602/PN-R903/PN-R703/PN-R603/PN-E802/PN-E702/PN-E602/PN-E601/PN-E521/PN-E471R/PN-E421/PN-A601/PN-L802B/PN-L702B/PN-L602B/PN-L601B/PN-L600B

1.「A：インフォメーションディスプレイのリモコンで電源を制御する」（16ページ）の手順1から手順4を行う。

2. 機能切換または本体設定メニューの「スケジュール」で電源制御のスケジュールを設定する。
スケジュールの設定方法については、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

ご参考

・ スケジュール機能を使う場合は、インフォメーションディスプレイとコントローラーの電源状態が揃っているか確認してください。（両方電源入／両方電源切）
電源状態が異なっている場合は、下記の手順で両方電源切にすることができます。
① コントローラーの電源が切れているか確認する。
電源入の場合は、リモコンのPOWER（電源）ボタンを押して、コントローラーの電源を切る。
② インフォメーションディスプレイの電源が切れているか確認する。
電源入の場合は、リモコンのPOWER（電源）ボタンを10秒以上押し続け、インフォメーションディスプレイの電源を切る。

■ C：コントローラー自身で電源を制御する

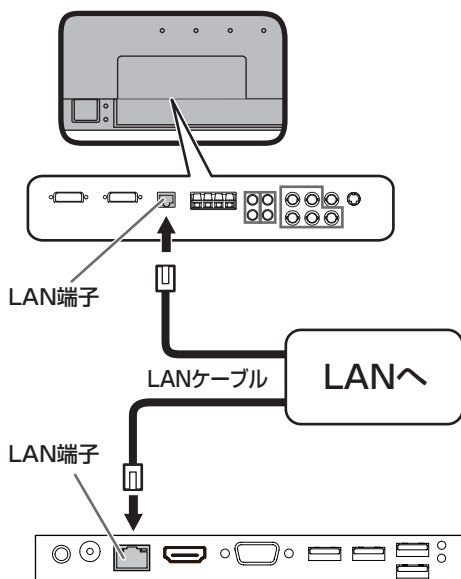
コントローラー側で電源を入／切する時刻を設定することができます。インフォメーションディスプレイの電源入／切は、コントローラー側から制御して行います。

コントローラー自身で電源を制御する場合、以下の条件を満たす必要があります。

・ コントローラーとインフォメーションディスプレイがRS-232Cケーブルで接続されているか、ネットワークに接続されていること。
・ インフォメーションディスプレイが当社製であること。

1. RS-232Cケーブルをコントローラーとインフォメーションディスプレイに接続する、またはコントローラーとインフォメーションディスプレイをLANに接続する。
RS-232Cでの接続については、「接続のしかた」（8ページ）をご覧ください。

LAN の接続図

▼インフォメーションディスプレイ側（例）

▲コントローラー側

2. インフォメーションディスプレイのメニューの設定を変更する。

(1) 本体設定またはモニターメニューの「スタンバイモード」を「スタンダード」に設定する。

(2) 機能切換またはその他メニューの「パワーマネジメント」を「する」に設定する。

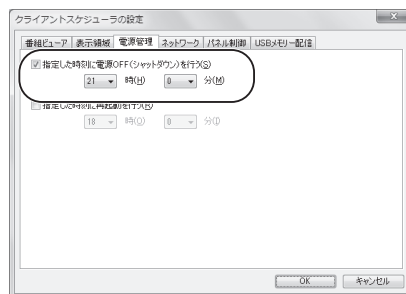
(3) 機能切換またはその他メニューの「自動入力切換」を「しない」に設定する。

メニューの設定方法については、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

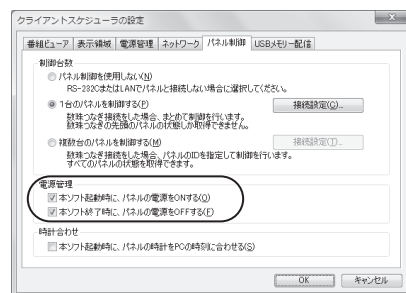
3. コントローラーの BIOS を立ち上げて、「Wake system with Fixed Time」を「Enable」にして起動する時刻を設定し、「PCIE Wake (Wake On LAN)」を「Enable」に設定する。

BIOS の設定については、「付録 2：BIOS の設定を変更する」（21 ページ）をご覧ください。

4. コントローラーを起動し、タスクトレイにある e-Signage クライアントスケジューラーのアイコン（ ）を右クリックし、「設定」をクリックする。

5.「電源管理」タブをクリックし、「指定した時刻に電源 OFF（シャットダウン）を行う」にチェックを入れ、シャットダウンしたい時刻を設定する。

6.「パネル制御」タブをクリックし、「制御台数」からディスプレイを接続する台数を選び、「接続設定」で接続方法を設定する。

RS-232C で接続している場合、本機の「COM ポート」は「COM1」となります。

7.「本ソフト起動時に、パネルの電源を ON する」、「本ソフト終了時に、パネルの電源を OFF する」にチェックを入れる。

8.「OK」をクリックする。

■ D：管理用パソコンから電源を制御する

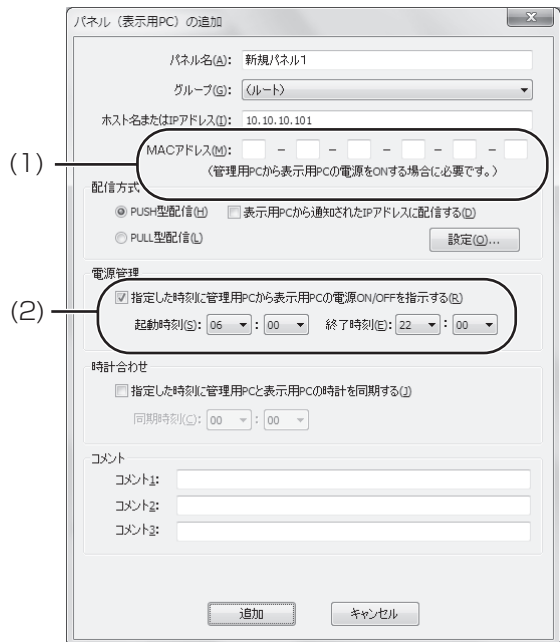
管理用パソコンから、指定した時刻にコントローラーの電源を入／切することができます。
インフォメーションディスプレイの電源は、コントローラーの電源入／切に合わせて入／切されます。

管理用パソコンで電源を制御する場合、以下の条件を満たす必要があります。

- 管理用パソコンに、e-Signage ネットワーク版または e-Signage Pro（EX ／ WEB サーバー版）がインストールされていること。
- 管理用パソコンとコントローラーがネットワークに接続されていること。
- コントローラーとインフォメーションディスプレイが RS-232C ケーブルで接続されている、またはネットワークに接続されていること。
- インフォメーションディスプレイが当社製であること。

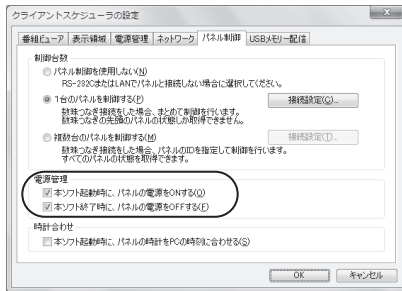
1. **RS-232C ケーブルをコントローラーとインフォメーションディスプレイに接続する、またはコントローラーとインフォメーションディスプレイを LAN に接続する。**
RS-232C での接続については、「接続のしかた」（8 ページ）をご覧ください。
LAN での接続については、「C：コントローラー自身で電源を制御する」（17 ページ）の手順 1 をご覧ください。
2. **インフォメーションディスプレイのメニューの設定を変更する。**
(1) 本体設定またはモニターメニューの「スタンバイモード」を「スタンダード」に設定する。
(2) 機能切換またはその他メニューの「パワーマネジメント」を「する」に設定する。
(3) 機能切換またはその他メニューの「自動入力切換」を「しない」に設定する。
メニューの設定方法については、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。
3. **コントローラーの BIOS を立ち上げて、「PCIE Wake (Wake On LAN)」を「Enable」に設定する。**
4. **コントローラーの MAC アドレスを確認する。**
コントローラーの MAC アドレスは、Windows のコマンドプロンプトを起動し、次の DOS コマンドを実行すると確認できます。

C: ¥>ipconfig /all

5. **管理用パソコンで、e-Signage のランチャー画面から「パネル管理」をクリックする。**
手順 5、6 は、e-Signage を例に説明します。
e-Signage Pro（EX ／ WEB サーバー版）の場合は、操作や画面例が異なりますので、e-Signage Pro の説明書と併せてお読みください。
e-Signage Pro EX の場合は、マネージャ画面から「パネル登録・編集」をクリックします。
e-Signage Pro WEB サーバー版の場合は、「システム設定」タブをクリックし、[パネル] をクリックします。
6. **「パネルの追加」をクリックし、パネル PC の設定を行う。**
(1) 手順 4 で確認したコントローラーの MAC アドレスを入力する。
(2) 「指定した時刻に管理用 PC から表示用 PC の電源 ON/OFF を指示する」にチェックを入れ、コントローラーが起動する時刻と終了する時刻を設定する。

■ E：ディスプレイの電源を制御し、Windows の起動／終了画面を見せないようにする

e-Signage の起動／終了にあわせてインフォメーションディスプレイの電源を ON ／ OFF することで、Windows の起動画面や終了画面画面を見せないように設定できます。

1. **RS-232C ケーブルをコントローラーとインフォメーションディスプレイに接続する、またはコントローラーとインフォメーションディスプレイを LAN に接続する。**
RS-232C での接続については、「接続のしかた」（8 ページ）をご覧ください。
LAN での接続については、「C：コントローラー自身で電源を制御する」（17 ページ）の手順 1 をご覧ください。
2. **コントローラーを起動し、タスクトレイにある e-Signage クライアントスケジューラーのアイコン（ ）を右クリックし、「設定」をクリックする。**
3. **「パネル制御」タブをクリックし、「制御台数」からディスプレイを接続する台数を選び、「接続設定」で接続方法を設定する。**
RS-232C で接続している場合、本機の「COM ポート」は「COM1」となります。

4. 「本ソフト起動時に、パネルの電源を ON する」、
「本ソフト終了時に、パネルの電源を OFF する」
にチェックを入れる。

5. 「OK」 をクリックする。

付録 2：BIOS の設定を変更する

BIOS を設定する場合は、あらかじめコントローラーに USB キーボード（市販品）を接続してから、コントローラーの電源を入れてください。

ご注意

・ ここで説明している以外の BIOS の設定は、変更しないでください。

1. **SHARP ロゴが表示されたらすぐに、キーボードの [Delete] キーを押す。**
   BIOS の設定画面が表示されます。
2. **下記の「BIOS の設定」の項目を設定する。**
3. **BIOS の設定を終了したいときは、「Save & Exit」-「Save Changes and Exit」を選んで、表示される画面で「Yes」を選ぶ。**
   BIOS の設定画面が終了し、コントローラーが再起動します。

■ BIOS の設定

Wake system with Fixed Time

「Advanced」-「S5 RTC Wake Settings」-「Wake system with Fixed Time」の順で選びます。
コントローラーを定時に起動する場合は、「Enable」に設定します。

この設定を「Enable」にすると、次の項目が表示されます。

	設定値
· Wake up Day	0-31
· Wake up hour	0-23
· Wake up minute	0-59
· Wake up second	0-59

「Wake up Day」は、起動する日にちを設定します。毎日起動する場合は、「0」にします。
「Wake up hour」「Wake up minute」「Wake up second」は、起動する「時」「分」「秒」を設定します。

例：毎日朝 8：00 に起動する場合の設定
「Wake system with Fixed Time」：Enable
「Wake up Day」：0
「Wake up hour」：8
「Wake up minute」：0
「Wake up second」：0

PCIE Wake (Wake On LAN)

「Chipset」-「South Bridge」-「PCIE Wake」の順で選びます。

ネットワークを通じてリモートでコントローラーを起動する場合は、「Enable」に設定します。

Restore AC Power Loss

「Chipset」-「South Bridge」-「Restore AC Power Loss」の順で選びます。
停電など、電源からの電力供給が絶たれたあと、再び電力が供給されたときの動作を設定します。

設定値	動作
Power Off	電源が再供給されても、電源スイッチが押されるまでコントローラーは起動しません。
Power On	電源が再供給されたら、コントローラーは起動します。
Last State	電源が再供給されたら、電源が絶たれたときの状態に復帰します。 ・ コントローラーが動作しているときに電力が絶たれた場合、電力の再供給によりコントローラーは起動します。 ・ コントローラーが電源「切」の状態で電力が絶たれた場合、再び電力が供給されてもコントローラーは電源「切」の状態となります。

Bootup NumLock State

「Boot」-「Bootup NumLock State」の順で選びます。
起動時にキーボードの Num Lock をオンにするか、オフにするかを設定します。
お使いのキーボードに合わせて設定してください。

付録 3：ディスプレイ背面に設置する

インフォメーションディスプレイの説明書と併せてお読みください。

警告 **対応機種以外には使用しない。**
落下などによるけがの原因となります。

!ご注意

- 熱がこもるのを防ぐため、本機を取り付けたインフォメーションディスプレイの周囲に空間を確保してください。

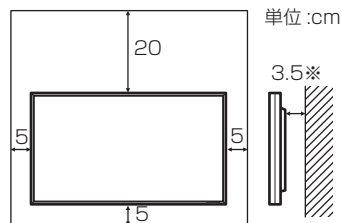
横長で使用する場合

単位 :cm

20

5　5

5

3.5※

※PN-R903 の場合 5cm
PN-R703/PN-R603 の場合 5.5cm

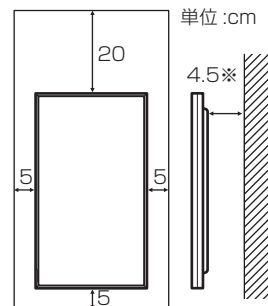
縦長で使用する場合

単位 :cm

20

5　5

5

4.5※

対応機種（2013 年 4 月現在）

機種名	金具取付位置		コントローラー取り付け方法
	コントローラー	ディスプレイ	
PN-R903/PN-R603	A	a	a
PN-R703		b	
PN-E802/PN-E702/PN-E602		c	b
PN-V602/PN-V601/PN-A601		d	
PN-E421	B	e	c

取り付け手順（ご販売店様・設置業者様用）

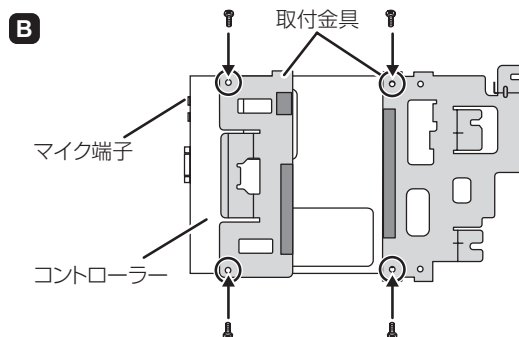
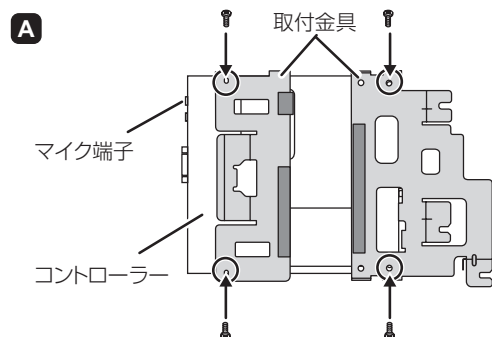
警告 **本機の取り付け･取り外しは、お買いあげの販売店か設置業者に依頼する。**
お客様自身による作業は行わないでください。

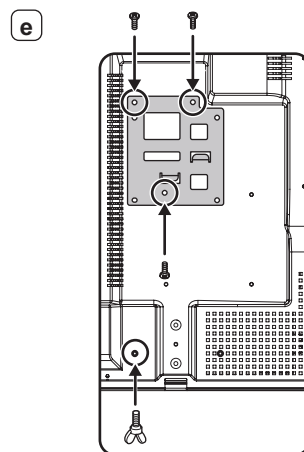
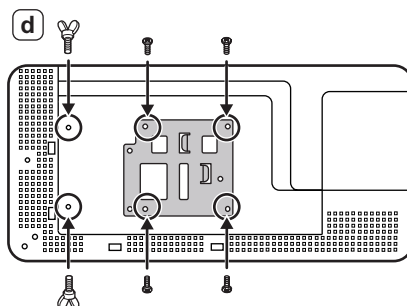
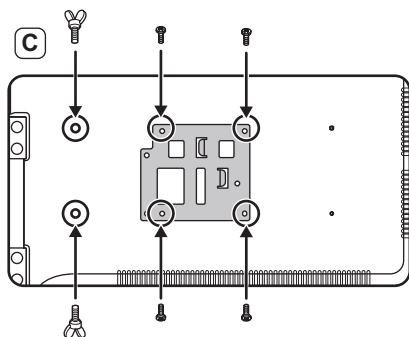
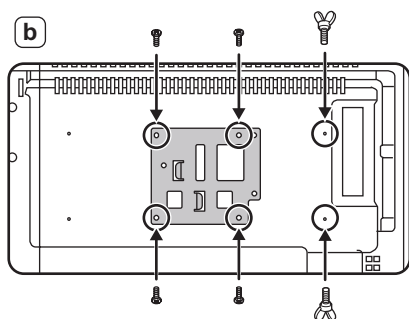
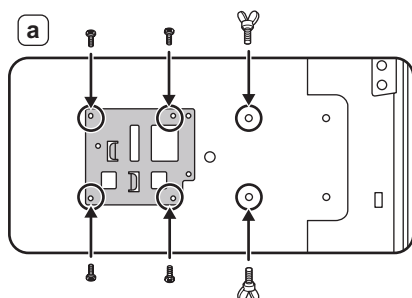
!ご注意

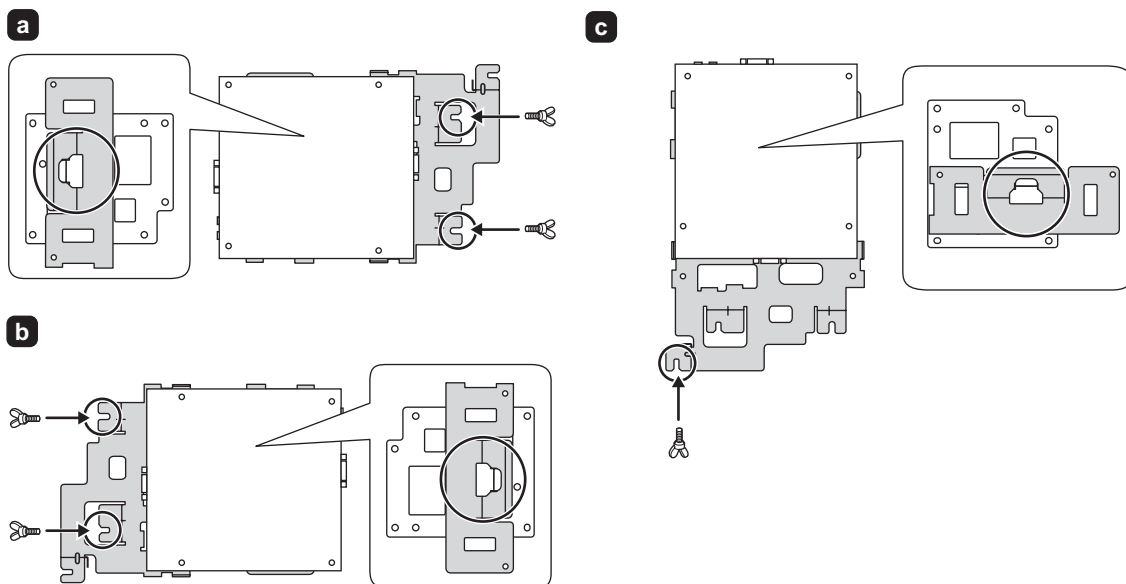
- 本機やインフォメーションディスプレイのコネクターに触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。
- 作業前に金属部分などに触れ、体内の静電気を取り除いてください。
- インフォメーションディスプレイとコントローラーの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

コントローラーに金具を付ける

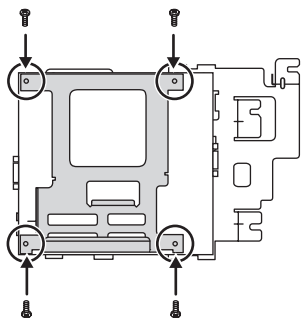
1. コントローラーに付属の取付金具（2 個）を付ける。

- コントローラーに付属の M3 ネジ（4 個）で付けます。

ディスプレイに金具を付ける

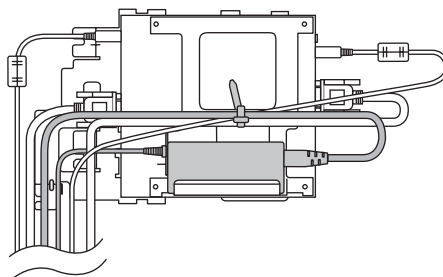
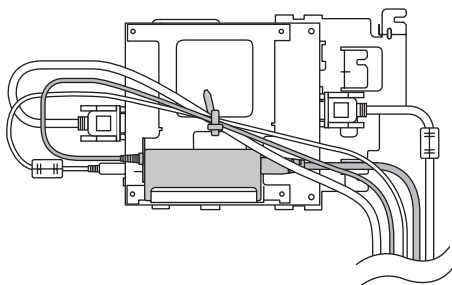
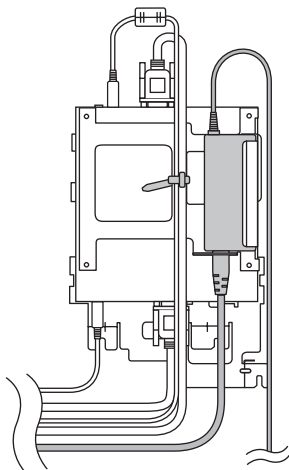
2. インフォメーションディスプレイ全体が載る安定した水平な場所に厚手の柔らかい布(毛布など)を敷き、インフォメーションディスプレイを液晶パネルが下向きになるようにして置く。
3. コントローラーに付属の取付金具（1 個）をインフォメーションディスプレイのオプション取り付け位置に付ける。
   コントローラーに付属の蝶ネジ（2 個または 1 個）を仮止めする。
   - オプション取付位置は、インフォメーションディスプレイの説明書でご確認ください。
   - コントローラーに付属の M4 ネジ（4 個または 3 個）で付けます。

コントローラーをディスプレイに付ける

4. コントローラーの取付金具の一方をディスプレイの取付金具に掛け、
   コントローラーのもう一方の金具を、仮止めした蝶ネジで固定する。

付属の AC アダプタートレイをコントローラーに取り付け、AC アダプターを置くことができます。また、取り付けた AC アダプタートレイに、ケーブル類を固定することができます。

AC アダプタートレイをコントローラーに取り付ける

5. AC アダプタートレイをコントローラーに付属の M3 ネジ（4 個）で付ける。
   - 壁掛け金具を使用してディスプレイを設置する場合は、AC アダプタートレイを取り付けないでください。
   - AC アダプタートレイは、ディスプレイの設置状態に応じて取り付けてください。

ケーブルをケーブルクランプで固定する

6. AC アダプタートレイを取り付けた場合は、AC アダプターを AC アダプタートレイに置き、ケーブル類をケーブルクランプで固定する。

マイク端子が横の状態
で使用する場合

マイク端子が上の状態
で使用する場合

付録 4：電源ケーブルの接続

インフォメーションディスプレイ本体から電源供給することが可能です。
インフォメーションディスプレイの説明書と併せてお読みください。

警告

対応機種以外には使用しない。
落下などによるけがの原因となります。

対応機種（2013 年 4 月現在）

機種名
PN-E521/PN-E471R/PN-E421

取り付け手順（ご販売店様・設置業者様用）

警告

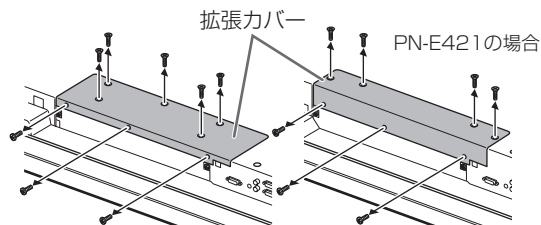
本機の取り付け･取り外しは、お買いあげの販売店か設置業者に依頼する。
お客様自身による作業は行わないでください。

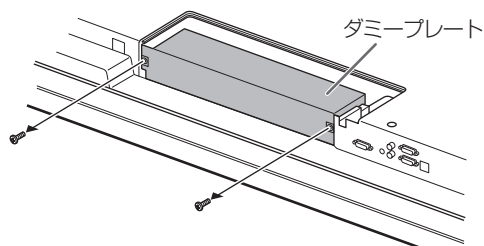
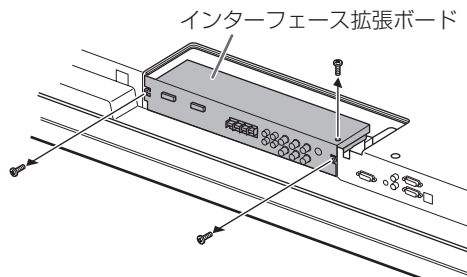
!ご注意

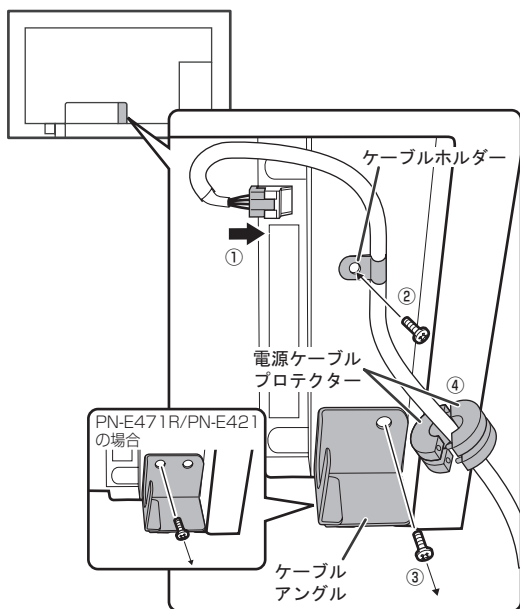
- 本機やインフォメーションディスプレイのコネクターに触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。
- 作業前に金属部分などに触れ、体内の静電気を取り除いてください。
- インフォメーションディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

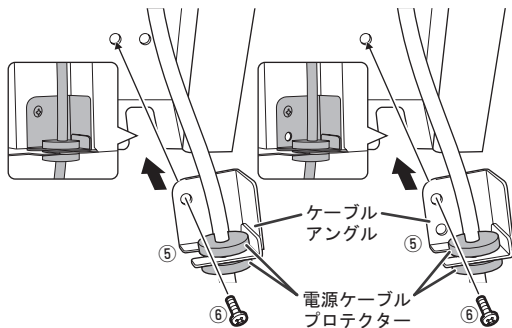
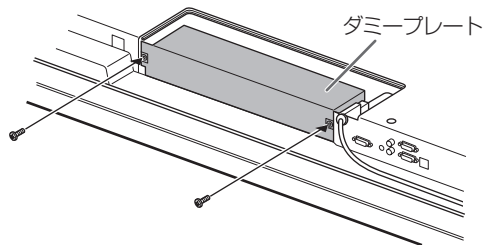
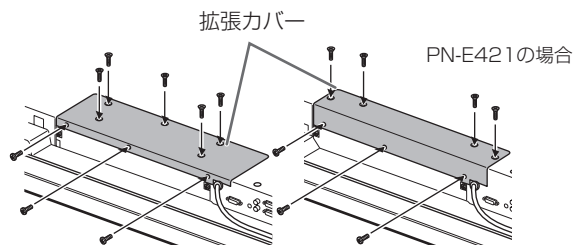
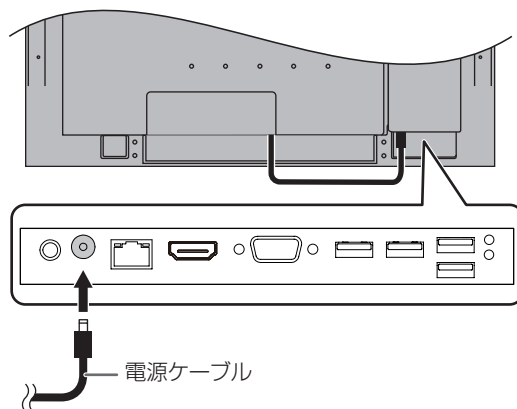
電源ケーブル（付属）を接続する。

1.拡張カバーを外す。

- ネジを 8 個（PN-E421 の場合は 7 個）外します。取り外したネジは、拡張カバー取り付け時に使用します。
- 拡張カバーの位置は、インフォメーションディスプレイの取扱説明書で確認ください。

2. ダミープレートを外す。

- ネジを 2 個外します。取り外したネジは、ダミープレート取り付け時に使用します。

- インターフェース拡張ボード（PN-ZB01) 取り付け時は、インターフェース拡張ボードを外してください。（ネジを 3 個外します。取り外したネジは、インターフェース拡張ボード取り付け時に使用します。）

3. 電源ケーブルを接続する。

① 電源ケーブルをインフォメーションディスプレイに接続する。
② 付属のケーブルホルダーを取り付ける。
付属の M3 ネジ（1 個）で付けます。
③ ケーブルアングルを外す。
ネジを 1 個外します。取り外したネジは、手順⑥で使用します。
④ 付属の電源ケーブルプロテクターで電源ケーブルをはさむ。

⑤ ケーブルアングルのみぞに電源ケーブルプロテクターを図のようにはさむ。

⑥ ケーブルアングルと電源ケーブルを取り付ける。

⑦ ダミープレート（またはインターフェース拡張ボード）を付ける。

⑧ 拡張カバーを付ける。

⑨ コントローラーに電源ケーブルを接続する。

e-Signageスタンドアロン版(PN-SS01)、e-Signageネットワーク版(PN-SS02)、e-Signage Pro EX(PN-SS05)、e-Signage Pro WEBサーバー版(PN-SW05)を購入された方へ

本コントローラーには、『e-Signage』のビューア版がプリインストールされています。

製品名称：
インフォメーションディスプレイマネージメントソフト
e-Signage ビューア版

使用許諾ライセンス数：
1ライセンス（本コントローラーでのみ使用できます）

シリアル番号：
SV01 − 850________

e-Signage スタンドアロン版、e-Signageネットワーク版、e-Signage Pro EX、e-Signage Pro WEBサーバー版をインストールする際に必要となるライセンスコードを取得する場合には、各ソフトウェアパッケージに同梱されている「ライセンス発行依頼書」のビューア版[PN-SV01]シリアル番号の欄に、上記シリアル番号を転記してください。

「よくあるご質問」などは ホームページをご活用ください。 ▶▶▶ シャープサポートページ http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/

使いかたのご相談など

使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社

部署	電話	住所
ビジネスソリューション事業推進本部 ビジネスソリューション営業部	0120-571002 フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は、電話：03-5446-8153	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館
ビジネスソリューション事業推進本部 ディスプレイ事業部	0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

受付時間
月曜～金曜
9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

修理のご相談など

【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープビジネスソリューション株式会社

0570-00-5008（●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。●携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS･IP電話をご利用の方は…
06-6794-9676

■沖縄地区の方は…
沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866
（月曜～金曜： 9:00～17:30）
（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

●電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2013.4)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
ビジネスソリューション事業推進本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in China
JA(3)